

ここが知りたい! アーメド緑内障バルブ

日時 2017年**9月30日** (土) 12:20~13:20

会場 第**4**会場 (リーガロイヤルホテル広島 3F 瀬戸)



座長

稲谷 大 先生 (福井大)



緑内障チューブシャント手術が本邦で認可されてから、早5年となりました。そして、少し小さめのプレートと低眼圧を防ぐ調圧弁が特徴であるアーメド緑内障バルブも、登場から3年が経ちました。

ここまでの様々な論文や学会発表によって、アーメド緑内障バルブが難治性緑内障に対する治療法の「最後の砦」として有効性を十分に発揮することは広く知られる所となりました。

しかしながら、実臨床にてこれからアーメド緑内障バルブを導入したいとお考えの先生方に於かれましては、「適応は?合併症は?長期成績は?」等の様々な疑問点をお持ちなのではないでしょうか?

そこで本セミナーでは「ここが知りたい!アーメド緑内障バルブ」と銘打ちまして、チューブシャント手術のエキスパートの先生方に、様々な疑問点の回答につながるお話しをして頂くことにしました。植木先生には基本手技と治療成績について、丸山先生には症例によるチューブシャントの使い分けについて、浪口先生にはトラブルシューティングについて其々お話し頂く予定です。

多くの先生方にとって、アーメド緑内障バルブについての理解が深まり、難治性緑内障に対する治療選択肢が1つ増えるセミナーとなれば幸いです。

演者 1



アーメド緑内障バルブの基本手技と手術成績

植木 麻理 先生 (大阪医大)

演者 2



アーメド緑内障バルブとバルベルト緑内障インプラントの使い分け

丸山 勝彦 先生 (東京医大)

演者 3



アーメド緑内障バルブのトラブルシューティング

浪口 孝治 先生 (愛媛大)